



## 政治の役割は「安心な暮らしをつくる」こと

### ～制度と空気を変えるのはあなた～

私たちは、一人ひとりの声に耳を傾け、みんなで解決策を考えて、税金の使い途を決め、制度を決める議会に提案していくことで少しずつですが、変えてきました。しかし、まだ変わっていないことこれから変えたいことがたくさんあります。変わらないなら自分たちでやってみよう取り組み始めたこともあります。たくさんの思いをもって活動しています。

「思いをカタチにする」原動力は、あなたの声です！

#### 🌸 変わってきたこと



##### ◆産後ケアが充実

宗像市では、産後 20 日以内しか利用できず、産科によるショートステイ型のみでした。

市民とともに提案し、産科と助産院でショートステイ型、デイサービス型と訪問型を選べるようになり、利用できる期間も産後 1 年以内と長くなりました。選択肢が増え利用しやすくなり、利用者数が数人から百数十人に大幅に増えました。更なる充実を求めています。(ネット・宗像)



##### ◆周りの人のちからを借りる

子どもたちは、障がいに応じた特別の指導を受ける権利があります。そのために通級指導教室もあります。送迎は出来ないが、支援を受けさせたいとの相談を受けました。現在、送迎している家庭でも無理をしている状況も見えてきました。そこで、送迎に第三者の手を借りることを提案し、保護者の判断で可能という回答を得ました。(ネット・福津)



##### ◆香害への取り組み

2019 年秋に「香りの害アンケート」に取り組み 509 名の回答を得ました。また、まつり古賀においても香害についてのパネルを作成し、市民アピールを行いました。その他の調査をもとに、2020 年 12 月議会で香害について一般質問をしました。その後、市内の公共施設に周知・啓発ポスターが掲示されるようになりました。(ネット・古賀)

\*香害については、全地域ネットで調査、一般質問、提案を行いました。



#### 🌸 これから提案すること

##### ◆MY 助産師制度の導入をもとめて

「もうひとり産みたいまち北九州」をめざして、助産師さんと対話型の学習会を開催しました。

妊娠初期から出産、産後まで継続して自分に合う助産師が寄り添うことで安心して子育てができます。「MY 助産師制度」の導入を求めて、11 月に予算要望を提出します。(ネット・北九州)



#### 🌸 変えたいこと (提案中)

##### ◆食は私たちの運動の原点

2018 年 4 月に主要農産物(稲・麦・大豆)種子法が廃止されたことを受け、住民の方から主要農産物種子法に代わる福岡県独自の条例制定を求める請願が 2019 年 12 月議会に出されました。ネット岡垣代理人は、紹介議員の一人としてこの請願に取り組み、岡垣町議会として全会一致で可決され、条例制定を求める意見書を福岡県知事あてに提出しました。

(ネット・岡垣)



「あつたらいいな」を市民の力で!

##### ◆学びの保障を



福岡市は福岡県内の他の自治体に比べて特別支援学級(情緒)が極端に少なく、支援を受けられない子どもたちがたくさんいると声が届けられました。保護者の皆さんと一緒に、切実な声を予算要望書として提出。福岡市発達教育センター長と面談しました。子どもたちに必要な教育を必要な時に受けられる権利の保障を求めました。(ネット・福岡城南)

#### 🌸 自分たちで始めたこと

##### ◆循環型社会をめざして

夏に街路樹の強剪定を繰り返している那珂川市。そうする理由は、落ち葉や鳥のフンや鳴き声問題に対する市民からの相談でした。「ゼロカーボンシティ那珂川」の今後の緑化方針を市民と協議して進めてほしいと提案。まずは自分たちで作ってみよう!と街路樹の落ち葉を集めて堆肥作り隊「くるくるネット」を始めました(ネット・那珂川)



秋、畑で作ったさつま芋で焼き芋をしました。

##### 「声にだせば何かが変わる」を実感!

「広報紙を配布するのは重くて大変」「自治会に入っていないと広報紙も防災マップも届かない」と複数の友人から聞いた。相談すると一般質問で取り上げてくれて、自治会ではなく業者配布に変更になりました。声にしなれば変わらなかった。声にすることで解決策が見つかることを実感しました。

宗像市 K.H